

田ノ口小児童らお掃除犬と砂浜清掃

ふるさと・キャリア教育の一環で10月15日(火)、田ノ口小学校の5・6年生15名が「お掃除犬」として知られる犬と一緒に砂浜のゴミ拾いを行いました。

町内でサーフショップを営む新谷信行さんの飼い犬「いくら」が5年ほど前より、散歩中の海岸でペットボトルを拾っていることが話題となり、「自然を楽しんでもらいながら環境のことについても考えてもらえたら」と一緒に砂浜の清掃をすることとなりました。

子どもたちは、いくらを連れながら海岸に落ちたペットボトルなどのゴミや漂流物を拾い、「いくらと一緒に掃除ができて楽しかった。今度海に来た時には自分も積極的にゴミを拾いたい」と話しました。

また同日には、町外から見た黒潮町の魅力を知り、町の良さを認識してもらおうと、子どもたちから移住者へインタビューが行われ、「なぜ黒潮町に来たの」など、質問を



いくらと一緒にゴミを拾う児童ら

しました。

ねりんピックに高知県代表で出場

11月9日(土)から開催される「第31回全国健康福祉祭和歌山大会(ねりんピック)紀の国わかやま2019」に、高知県代表として町内から「グラウンド・ゴルフ」、「ボウリング」、「弓道」の3種目に8名の選手が出場します。

同大会は、高齢者の健康維持や社会参加と生きがいづくりを推進するために行われ、グラウンド・



ゴルフに出場する酒井隆昌^{たかまさ}さんは、「入賞を目標に頑張りたい」と意気込みを示しました。



【弓道/写真左】小橋たか子さん
【ボウリング/写真中】篠田正近さん
【グラウンド・ゴルフ/写真右】酒井隆昌さん、池田章夫さん、森近陽一さん、文野雅允さん、水野一弘さん、山下豊明さん(順不同)



第4回黒潮町民ゴルフ大会

10月5日(土)、「第4回黒潮町民ゴルフ大会」が土佐ユートピアカントリークラブで開催され、212名のゴルファーが参加しました。

同大会は、黒潮町民ゴルフ大会実行委員会が主催し、「黒潮町とゴルフをこよなく愛する人」を対象に平成28年より実施されていきます。参加者は、「毎年この大会を楽しみにしている。今年も参加できて嬉しい」と話しました。

また、同大会ではチャリティとして協力を参加者らに募り、佐賀中学校と大方中学校に図書が寄贈されました。

同日には、八木敦士プロ(黒潮カントリー所屬)による「第3回スナッグゴルフ教室」が行われ、三浦小学校と上川口小学校・宿毛小学校の児童ら18名が参加しました。三浦小5年の濱口碧^{あおき}己さんは、「最初は緊張したけど、プロが優しく教えてくれたので楽しかった」と話しました。



八木プロから指導を受ける児童

た。

第4回奥湊川彼岸花まつり

9月23日(月)・24日(火)の2日間、湊川ふれあいセンターで「第4回奥湊川彼岸花まつり」が開催され、多くの人で賑わいました。

奥湊川地区では、「地区を盛り上げたい」という思いから奥湊川活性化維持委員会が平成23年に結成され、それまで点々と咲いていた彼岸花を道端に咲かせて見所しようとして住民らが植え替えなどを行いました。また、同祭は地区のものを販売し、交流の場にしようとして4年前から開催されています。

訪れた人は、同地区で作られた米や野菜、惣菜などを購入したり、彼岸花が咲く道沿いを歩いたりと思いいに楽しんでいました。

田辺孝区長は、「天気の関係で中止も考えたが、たくさんの人が来てくれて笑顔が見られて良かった。年々出品してくれる住民も増えており、交流の場としてこれからも続けていきたい」と話しました。



道沿いに咲く彼岸花を楽しむ住民

と話しました。